第１学年　学年通信 No13

つ ぼ み

練馬区立上石神井中学校
令和５年 10 月 16 日(月)

10月 4 日に合唱コンクールをルネ小平にて行いました!!

合唱コンクールを終えて･･･(partⅡ)

以下、生徒の作文を掲載していきます。
今回は銀賞を獲得した、1 年 D 組の佐藤果穂さんの作文です。
ぜひご覧ください。

文化発表会を終えて

1 年 D 組　佐藤果穂

初めての文化発表会に向けての練習は、始めたばかりの頃は、曲に一体感もなく、この状態で本番を迎えることが不安でしたが、本番に近づくにつれ、私も声が出るようになりました。また、クラスの人全員が一つになって練習を行うことができるようになり、とても安心しました。

私は、本番一週間前から毎日、ユーチューブで検索をして、曲を聴いたり、家で三回、課題曲と自由曲それぞれを歌ったり、個人でもたくさん練習しました。本番では、とても緊張して、歌詞を間違えてしまったりするのではないかと不安でしたが、誰一人間違えることがなく、とても良かったと思っています。クラス全員が一つになって、すてきな歌声を会場に響かせることができたのは、クラスメイト一人一人の努力があったからだと思います。結果は銀賞で金賞という目標には届きませんでしたが、D 組のみんなが一つになって必死に練習したことには変わりはないので、悔しい気持ちもありますが、そのようなところは、自信を持って他のクラスに自慢できると思います。

以下文章が続きます。

また、今回の文化発表会で、なぜ歌は生きていくために必要不可欠な物ではないのに存在しているのかと考えてみました。普段私は、何も考えずに歌を聴いていました。合唱も同じです。ユーチューブに流れてきてもあまり深く考えずにいます。最初は、歌と合唱は何のためにあるのか、何も浮かびませんでした。けれど、練習を重ねるごとに必要さが分かってきました。歌や合唱を通して、自分の大切な人に感謝の気持ちを伝えることができます。また、自分の大切な人だけでなく、歌や合唱を聴いた世界中の人に感動と元気を与えることもできます。私も落ち込んだ時、歌に助けられた経験が何度もあります。文化発表会が終わって、もう一つ大切なことに気がつきました。それは、1 年 D 組が今までにないくらいに団結し、やり遂げられたことです。人間一人一人、性格も価値観も違う人たちの中、一つの教室で長い時間を一緒に過ごすからこそ、すれ違ったりしてしまうこともあります。しかし、歌はみんなの心を一つにすると思いました。

今回の文化発表会では、歌の尊さについて真剣に考え、D 組の絆を深めることができたと思います。残りの約五か月、今一緒にいられる仲間との時間を大切に過ごしていこうと思います。

〈今後の予定〉
10 月 20 日(金)中央委員会
10 月 23 日(月)生徒朝会、新入生部活動体験始
10 月 24 日(火)川越校外学習
10 月 26 日(木)校区別協議会のため午前授業
10 月 30 日(月)5時間授業
10 月 31 日(火)5時間授業